



自然を  
楽しむ

94

「新天地を求めて」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

植物自らは生育場所を移動できないため、種子植物では、種子の段階が唯一の移動時期です。

種子散布には“名も知らぬ…流れよる椰子の実一つ”のような「水散布」や、イノコズチや餌として運ばれる「動物散布」、そして「ドングリころころ…」のような「重力散布」など各種ありますね。

写真の種子は、「風力散布型」のユリ科のウバユリの種子で、扁平な種の周りの薄い膜状構造の助けにより風の力で新天地を求めて“親離れ”をします。